

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°27 ナナ・ヴァン

生産地方：ラングドック

新着ワイン 1 種類♪

VdF ソー・ナット！ 2015（白）

ナタリーが新しくリリースするテブレラン 100%のスティールワイン！ワイン名の「Nath！（ナット）」はナタリーの略名！ナタリーの大的お気に入りワインだが、なかなかワインのイメージに結び付く名前が見つからずいた時、彼女の友人がワインを試飲して「ナタリーらしいワインだね！」と言われてピンとひらめき、そのままストレートに「ソー・ナット！」と命名したそうだ！味わいはピュアで旨味がきれいに溶け込んでいる！南のワインでありながら、どこかロワールを髣髴とさせる繊細なバランスがあり、つつい飲みが進んでしまうワインだ！しかもコストパフォーマンス抜群で、この出会いはかなり嬉しい♪

ミレジム情報 当主ナタリー・ゴビシェールのコメント

2015年は質にも量にも恵まれた当たり年！春は温暖で適度な雨にも恵まれ、ブドウの成長も1週間ほどペースの速い幸先の良いスタートだった。開花も問題なく順調に終え、ブドウの病気も一切なく豊作が期待された。5月終わりまでブドウの成長に勢いがあつたが、6月に入ってから連日夏日が続き、雨も一切降らなくなったため、乾燥により成長に少しブレーキがかかり始めた。日差しの強く乾燥した気候はそのまま8月の中旬まで続き、その間も全く雨が降らなかったため、ブドウの葉は裏返り、房も小さくコンパクトなまま明らかに水不足の様相を呈してきた。だが、幸いにも8月15日、16日と2日間に渡り計50mmのまとまった雨のおかげでブドウは息を吹き返し、果汁をしっかりと蓄え完熟したブドウを収穫することができた！

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

今回リリースするソー・ナット！のテブレランは、現在一緒に住んでいるパートナーのエミール・レディアが所有する畑で、ネゴスの買いブドウという扱いだが、実際は醸造だけでなく、トラクターの作業以外はすべてナタリーが管理をしているようだ！一方、ロワールの畑の管理は、通年で働く従業員と、これから独立を考えている若いヴィニョロンカップルに任せ、ナタリーが普段その場にいなくてもしっかりと畑が回るように、若いヴィニョロンには、旧カーヴを無償で貸す代わりにトラクターの作業と従業員の作業チェックを行ってもらっている。そして、収穫時は、南と北で約1ヶ月の時差があるのをうまく利用し、まず南の収穫からアタックし、醸造作業が落ち着くとすぐにロワールに上がり、今度は拠点ロワールに移し収穫と醸造に従事するという多忙な日々を送っている！

ナタリーは離れた二つの地域を同時に管理することについて、まずメリットとして彼女は「ワインのづくりの視野が広がり、感覚が磨かれた！」と答えてくれた。南と北ではブドウ品種もワインの性質も全く異なるが、彼女はそれらを実際に手掛けることで、「バランスの良いワインをつくるために、ロワールではいかに完熟したブドウを収穫するかが重要なのに、南は逆にいかにブドウに酸を残すかが重要となってくる。頭の中ではそれを理解できても、実際ひとつの地域のワインしか手掛けていないと、ワインのバランス感覚が無意識に偏ってしまうことがある。でも、二つの異なる地域のワインを同時に手掛ける経験を積んでくると、これはあくまでも私の意見だが、両方のワインのバランスが自然と見えてくるようになる」と彼女は言う。確かに彼女のつくる南のワインはロワールの凛とした表情があり、年々格段に美味しくなっていると感じている！

一方で、デメリットは、やはり移動距離による体の疲労、そして何よりも母親として子供たちの面倒を十分に見切られないストレスがあるようだ。

ひとつの地域で美味しいワインをつくり続けるだけでも大変なことを、子供二人を抱えるナタリーが、立派にたくましくこなしている。もはや誰が見ても正真正銘のヴィニョロンだ！

(2016.5.5.&6.10.のドメーヌ突撃訪問&10.31.のメールより)